

1. 科目名 (単位数)	福祉と経営 I (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1130						
2. 授業担当教員	中野 隆之								
4. 授業形態	テキストを輪読し、その内容について教員による解説を加え、必要に応じ、受講生によるディスカッションを行う。	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>社会福祉分野と経営分野は別々に発展した学問領域ではあるが、実は密接な関係性がある。社会福祉事業が機能するためには適切なマネジメントが図られる必要があるからだ。つまり、営利を目的としない福祉の現場においても、社会福祉施設が適切に運営されていくためには、適切なマネジメントが行われることが必要である。それだけではなく、一般企業においても、従業員の福利厚生やメンタルヘルスの向上の視点から、福祉マインドを持ったスタッフが求められ始めている。</p> <p>そこで、本講座では、適宜補足レジュメ等を用いながら、まず福祉マインドの醸成を目的としてまずは介護業界に絞って福祉における経営課題を学び、それぞれの解決策について考える。</p>								
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉(介護)業界の実態を理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界における経営課題について理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界が取るべき経営戦略のあり方を理解できるようになる。 								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	アサインメントは特に課さないが、15 回の講義の中では各講義内容と関連した演習問題か小テストを課す。また第 12 回の講義の際に期末レポートを課す。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 馬場博編、『はじめて学ぶ介護福祉のマネジメント』日本医療企画、2015。</p> <p>【参考書】 野中郁次郎著『経営管理』日経文庫、日本経済新聞社。 社会福祉士養成講座編集委員会編『新社会福祉士養成講座 11 福祉サービスの組織と経営 (第 5 版)』中央法規、2017 年。 山縣文治・岡田忠克編『よくわかる社会福祉 (第 1 0 版)』ミネルヴァ書房 (社会福祉入門テキスト)。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストの輪読や小テストを通じて、福祉業界について理解できたかどうか 2. レポートを通じて、福祉業界における経営課題について理解し、取るべき経営戦略を考えることができてきているか <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>授業への積極的参加度</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>小テスト (毎回冒頭 10 分)</td> <td>30%</td> </tr> </table>			授業への積極的参加度	40%	レポート	30%	小テスト (毎回冒頭 10 分)	30%
授業への積極的参加度	40%								
レポート	30%								
小テスト (毎回冒頭 10 分)	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. (ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員からの呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせ、担当教員による厳重な監督下におく。 2. 第 1 2 回目の講義の際に期末レポート課題を出題するが、提出期限はその際に知らせる。期限経過後の提出は一切認めない。また提出されたレポートは後日発表してもらおう。 3. 将来、福祉や様々なサービス業務でチームリーダーや管理職に携わる際に役立つ有効なセンスを磨く、という意気込みで講義や演習に臨んでほしい。 4. 授業中、積極的に自分の考えを持ち発言すること。講義・演習を単に学課を学ぶ場としてではなく、自分の考えをまとめ、発言する、文書化する、といった今後の学生生活や社会生活に必要なトレーニングの場と考えること。 5. 理解が不十分な点については放置せず授業中やオフィスアワーを利用して積極的に質問すること。 								
13. オフィスアワー	別途、通知します。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	イントロダクション、介護サービス市場・1 市場の動向、事業の経営状況、介護保険外ビジネス	事前学習	テキスト pp. 2~16 を読んでくること。						
		事後学習	介護福祉経営を取り巻く環境のうち、今回講義を受けたことを理解する。						
第 2 回	介護サービス市場・2 地域包括ケアと介護保険サービス、介護人材市場	事前学習	テキスト pp. 17~33 を読んでくること。 介護福祉経営を取り巻く環境のうち、今回講義を受けたことを理解する。						
		事後学習	介護保険制度のしくみを理解する。						
第 3 回	介護サービス市場・3 介護福祉サービスの供給主体、および利用者との関係	事前学習	テキスト pp. 34~49 を読んでくること。						
		事後学習	介護福祉経営を取り巻く環境のうち、今回講義を受けたことを理解する。						
第 4 回	介護保険制度	事前学習	テキスト pp. 52~67 を読んでくること。						
		事後学習	介護保険制度の仕組みを理解する。						
第 5 回	介護福祉サービスと経営、介護経営におけるヒト	事前学習	テキスト pp. 68~74 を読んでくること。						
		事後学習	介護福祉サービスでの経営の必要性、経営資源としてのヒトの重要性などを理解する。						

第6回	介護経営におけるモノ	事前学習	テキスト pp. 74～78 を読んでくること。
		事後学習	経営資源としてのモノ、および介護福祉サービスの内容を理解する。
第7回	介護経営におけるモノ（コンプライアンス）	事前学習	事前に配布する資料を読んでくること。
		事後学習	介護福祉業界で求められるコンプライアンスを理解する。
第8回	介護経営におけるカネ	事前学習	テキスト pp. 79～87 を読んでくること。
		事後学習	従業員満足、顧客満足、会社満足のバランスについて理解する。 経営資源としてのカネ、および介護福祉業界の収益構造を理解する。
第9回	介護福祉サービスにおける行政機関の役割	事前学習	テキスト pp. 88～95 を読んでくること。
		事後学習	国や自治体の役割を理解する。
第10回	事業経営に必要な6つの要素・1 介護福祉サービスの「利用者」、事業の「経営理念」	事前学習	テキスト pp. 98～110 を読んでくること。
		事後学習	PDCA サイクル、情報公開、リスクマネジメントなど「利用者」満足にかかわること、および経営理念について理解する。
第11回	事業経営に必要な6つの要素・2 サービス第三者評価、組織の基盤整備	事前学習	テキスト pp. 110～121 を読んでくること。
		事後学習	サービス第三者評価、および経営目標等の達成に必要な組織づくりの内容を理解する
第12回	事業経営に必要な6つの要素・3 「職員」管理、「財務・コスト」管理 期末レポート課題の出題	事前学習	テキスト pp. 121～128 を読んでくること。
		事後学習	「職員」管理、「財務・コスト」管理を理解する。 期末レポート課題の解答案作成開始
第13回	リーダーシップ	事前学習	テキスト pp. 130～145 を読んでくること。
		事後学習	介護福祉経営におけるリーダーシップの必要性を理解する。
第14回	社会に貢献する組織づくり 基本理念の明確化、業務改善の継続、事業の成長サイクル、BSCの活用	事前学習	テキスト pp. 146～160 を読んでくること。
		事後学習	社会に貢献する組織づくりの内容として今回、講義を受けたことについて理解する。
第15回	最後のまとめ 演習（期末レポート課題発表と討議、講評）	事前学習	ここまで未消化であった事項を整理する。 第12回で出題されたレポート課題の発表準備。
		事後学習	福祉サービスの経営に関し自分なりの知見が持てたか振り返る。